

第16回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会 苫田ダム定期報告書の総括

第16回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会において苫田ダム定期報告書の審議を行った。

1. 洪水調節、2. 利水補給、3. 堆砂、4. 水質、5. 生物、6. 水源地域動態について、苫田ダムが管理を開始した平成17年度から平成20年度までの期間を主な対象として分析・評価を行った。

審議された各項目のうち、洪水調節、利水補給、堆砂については、概ね所期の機能を発揮している。

水質については概ね良好であるが、ダム湖底層部においてDOが低下する時期があることから底質調査地点の追加を検討する。

生物については、生息状況に大きな変化はみられていないが、下流河川において魚類及び底生動物の一部に変化が認められることから、今後も注意が必要であるとともに、ダム下流河川の河床材料等の調査内容について検討する必要がある。

水源地域動態の調査・分析手法の充実について、今後工夫してほしい。

今後とも洪水調節、利水補給の役割を十分に果たしていくとともに、データの蓄積にあたっては、その活用が十分に図られるよう取り組み、水質環境はもちろんのこと、生物環境、社会環境にも配慮した適切なダム管理に取り組まれない。